

新開発

筋かい金物は
〈耐震+制震〉の時代です。

壁倍率 **2倍用** **30mm**まで
床合板対応 **CHROME FREE**
内使い用と外使い用があります。

DIT制震筋かい金物

[壁倍率2倍用] 設計も、施工も、今まで通り!

筋かい金物と制震装置がひとつになった制震筋かい金物です。
揺れに耐えながら地震のエネルギーを効率的に吸収し、建物の揺れ幅を低減します。

現場がうれしい! 3つの特長

① 設計変更不要

既存の筋かい金物をDIT制震筋かい金物に代えるだけ。設計の自由度が高く、プランが制限されません。

② 簡単施工

通常の筋かい金物と同じようにビスどめするだけの簡単施工。特殊な加工やわずらわしい施工はありません。

③ 低コスト

予算や効果に合わせて設置数が選べ、低コスト導入が可能。無料の簡易解析もご提供しています。



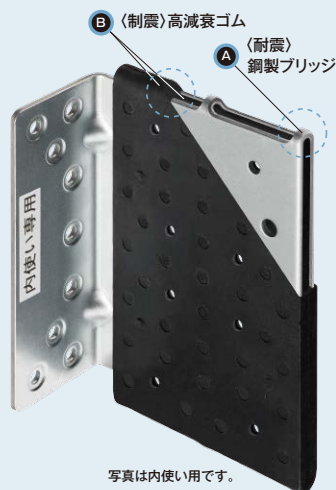
写真は内使い用です

高減衰ゴムにより
地震のエネルギーを効率的に吸収!

開発元：第一工業大学・横浜国立大学

ハウスプラス確認検査(株) 評定書 HP 評定(木)-15-004

2つのヒミツから生まれる 〈耐震+制震〉の構造メカニズム



写真は内使い用です。

A 〈耐震〉二重構造の粘り強さ



金物は二重構造。地震の揺れで筋かいが引っぱられると上下6カ所のブリッジ部が粘り強く受け止めて倒壊を防ぎ、筋かいの損傷も抑えます。

B 〈制震〉高減衰ゴムの吸収・復元力



二重構造の内部には高減衰ゴムを充填。地震エネルギーを効率的に吸収して建物の倒壊を防ぎ、筋かいの損傷も抑えます。

2階床の揺れ幅を低減。 設置数によって効果が変わります。

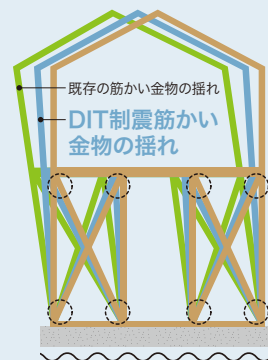
既存の筋かい金物のかわりにDIT制震筋かい金物を使用すると、2階床の揺れ幅を軽減できます。

1階内周部
20個設置で

揺れを
約**50%**軽減

1階すべて
60個設置で

揺れを
約**75%**軽減



※揺れのイメージ

実物件で検証

延べ床面積…130.25㎡(約39坪)
地震波…建築センター波(BCJ-L2)50kine

※軽減する揺れ幅は、建物形状、配置プラン、地震波によって異なります。



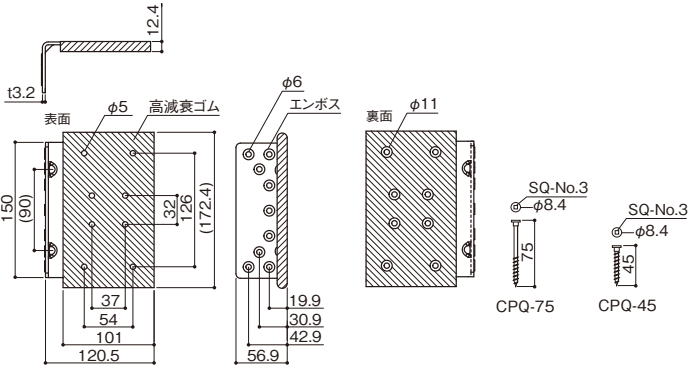
金物は<内使い用><外使い用>の2種類あります。 取付け方法が異なりますのでご注意ください！

内使い用 ホールダウン金物(アンカーボルト)との干渉を考慮し内使い用を推奨とします。
内使い用製品を外使いでご使用いただくことはできませんので、ご注意ください。

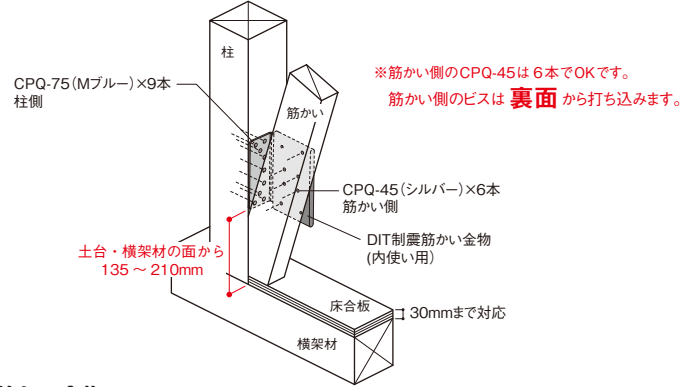
DSS-I



仕様図



取付図

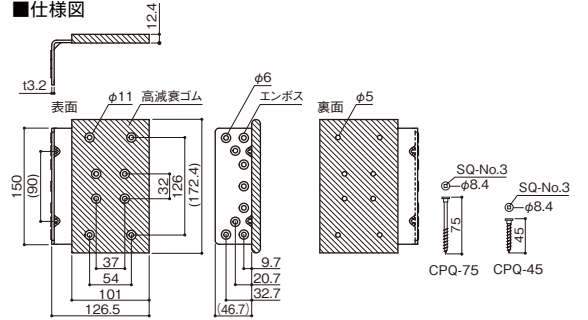


外使い用 内使い用と製品が異なります。ホールダウン金物(アンカーボルト)と干渉し、柱側ビスが打てない場合があります。外使い用製品を内使いでご使用いただくことはできませんので、ご注意ください。

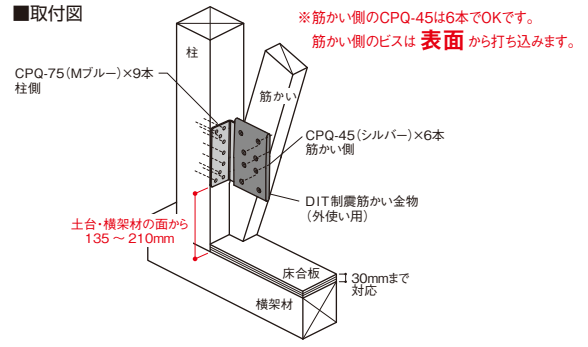
DSS-O



仕様図



取付図



用途

- 壁倍率2倍用の筋かい(90・105×45)を容易かつ強固に接合し、制震効果も有する金物です。

使用方法

- ①内使い用、外使い用を確認します。
- ②本体を土台・横架材の面から135～210mmの範囲内に柱側金物下端がくるように合わせます。(床合板ありの場合でも土台・横架材の面から135～210mm)
- ③付属のビスで柱と筋かいを接合します。

注意事項

- ご使用前に必ず設計・施工マニュアルをお読みください。
- 内使い用と外使い用で製品が異なります。
- 本体の取付け高さに注意してください。
- 外使い用はホールダウン金物(アンカーボルト)と干渉し、柱側ビスが打てない場合があります。外使い用製品を内使いでご使用いただくことはできませんので、注意してください。
- 内使い用製品を外使いでご使用いただくことはできません。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- ビス接合用の四角ビット(＃3)は別売品です。
- ビスをまっすぐ打ち込むために125mm以上のビットの使用をお勧めします。
- 本製品とは別に柱頭・柱脚の仕口に必要な金物を取付けてください。

DIT制震筋かい金物

型番	商品コード	出荷単位	梱包	作業工程別梱包の分類	メーカー希望小売価格円/個(税抜)
DSS-I(内使い用)	099002	1個	10個/ケース	構造	8,000
DSS-O(外使い用)	099003				8,000

材質	JIS G 3302 SGH400
表面処理	溶融亜鉛めっき鋼板(Z27 クロムフリー)
付属品	柱側専用ビス………CPQ-75(Mブルー)×9本 筋かい側専用ビス…CPQ-45(シルバー)×6本
承認等	ハウスプラス確認検査(株)評定書 HP評定(木)-15-004
開発元	第一工業大学・横浜国立大学

BXカネシン株式会社

BXカネシンCSセンター

お問い合わせ ▶ Tel.0120-106781 Fax.0120-677010 Tel.03-5671-1077
http://www.kaneshin.co.jp/

本社 / 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸4-19-12
大阪支店 / 〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町3-2-13 平野町中央ビル7階
仙台営業所 / 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-5-22 宮城野センタービル5階
新潟営業所 / 〒955-0001 新潟県三条市三貫地新田134
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-17-19 安田第5ビル5階

Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770
Tel.06-4708-3326 Fax.06-4708-3925
Tel.022-349-8981 Fax.022-349-9033
Tel.0256-47-1451 Fax.0256-64-8499
Tel.092-260-3335 Fax.092-260-3338

